

こぱんはうすさくら 児童発達支援 ガイドラインアンケート実施結果を公表します

こぱんはうすさくらでは、より良いサービスを提供するため、「児童発達支援ガイドライン」をもとに保護者様のご意見やお子様の成長状況を把握し、教室での今後の取り組みを明確にしていくことで、支援の質の向上とお子様の成長につなげてまいります。

◆ 立川幸町教室 ◆

★保護者様からのご意見

項目	いただきましたご意見
環境・体制整備	通い始めて2年以上たちましたが、楽しく遊んでくれているようで感謝しています。夏に冷房が効きすぎていると感じる日がありました。
適切な支援の提供	家族では行く機会がない所にも連れていってもらい、色々な経験をさせていただいてありがとうございます。
保護者様への説明等	しゃべれない子なので、どのように過ごしたか本人から聞けないので、いつもしっかり伝えてくれて感謝です。送迎時やメールのやり取りでコミュニケーションがとれています。
非常時等の対応	非常時はどこに避難するのか、親としてはどのように連携をとるのか決めておくと良いと思います。
満足度	朝、送迎の電話が来ると嬉しそうにリュックを背負っています。この2年ちょっとで、ものすごく成長してくれています。先生方いつもありがとうございます。

★教室での自己評価

項目	改善策及び取り組み状況
環境・体制整備	言語化されていない共有事項について、視覚化し全スタッフで日々声をかけ合いながら共有していく。
業務改善	日々のふり返し、保護者様との面談でいただくお声をもとに、日常レベルで教室がより良くなるよう具体的な改善を実行していく。
適切な支援の提供	療育活動の内容やスタッフの連携について、日常的に打ち合わせ・準備を行い、かつ終了後のふり返しで適切な支援環境の構築をしていく。
関係機関や保護者との連携	関係機関については積極的にこちらから出向き、利用者様の状況を共有できるようにしていく。保護者様には送迎時に可能な限り丁寧にご利用者様の様子をお伝えする。
保護者様への説明責任等	対面・電話に加え、保護者様の状況に合わせたメールでの対応を日常的に行い、共通認識の上で日々の療育活動を進めていく。
非常時等の対応	非常時対応マニュアルを作成し、安全に命を守る対応ができるよう、全スタッフで共通理解を図る。非常時対応訓練を定期的実施する。